

環境研究倫理特論 特別講演会

日時：10月21日（月） 16:30～18:00

場所：滋賀県立大学 環境科学部棟2階 B0会議室

自身を取り巻く組織の環境と 不正行動との関係性

講師：森口文博氏

（常翔学園／大阪市立大学）



講演要旨

近時起こった不正事例を題材に、経営学の分野における“組織行動論”の観点から、組織と個人との間に潜む不正行動のメカニズムを紹介します。

みなさんは、普段どのような判断基準で何か物事を決めていきますでしょうか。少なからず、友人や先生との関係や所属しているグループのルールや環境等が自身の意思決定に影響しているでしょう。

本講演では、個人が何を基準に組織と結びついているかという“組織コミットメント”という考え方を紹介し、自身を取り巻く組織の様々な環境下で、適切に判断・行動できる意思決定方法について議論します。

一般来聴歓迎

お問い合わせ：原田英美子
（環境科学部・生物資源管理学科）
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
Tel: 0749-28-8322 ; Email: harada.e@ses.usp.ac.jp

本講義は、平成29年に滋賀県立大学・環境科学部の大学院講義として新規開講した科目で、科学技術者の社会的責任について多方面から論じます。実施内容についてはオンラインシラバス

(<http://www.usp.ac.jp/edu/syllabus/s2019/> 環境科学研究科 環境動態学専攻・環境計画学専攻 p115) をご覧ください。